

第12回 市川市景観賞候補者活動概要

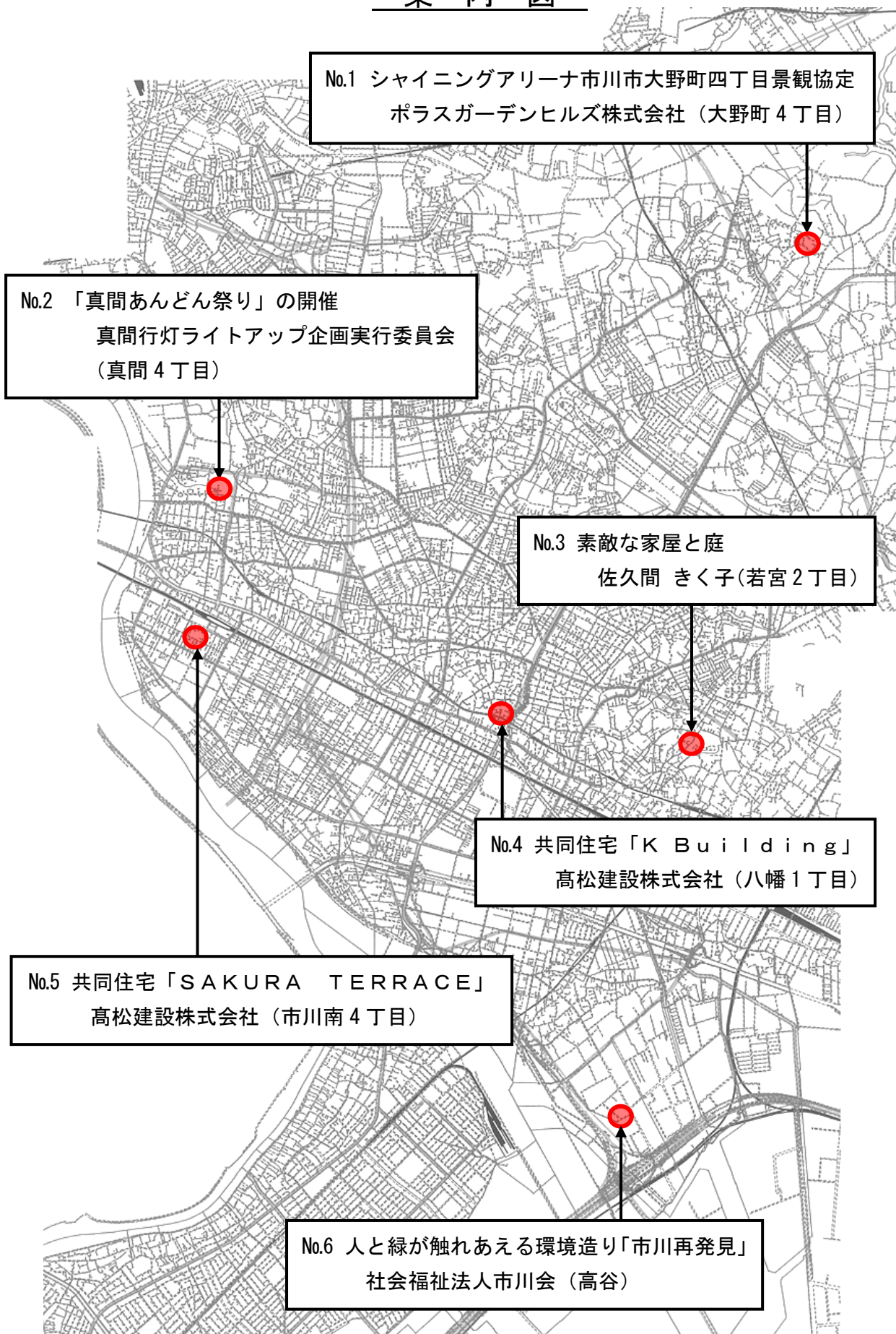
- No. 1 ポラスガーデンヒルズ株式会社
専用住宅17戸における景観協定「シャイニングアリーナ市川市大野町四丁目景観協定」の締結
建築・まちなみ部門（景観賞表彰要綱第3条第1号に該当）
- No. 2 真間行灯ライトアップ企画実行委員会
真間山弘法寺境内における「真間あんどん祭り」の開催による景観形成活動
啓発イベント部門（景観賞表彰要綱第3条第2号に該当）
- No. 3 佐久間 きく子
素敵な家屋と庭による景観形成
建築・まちなみ部門（景観賞表彰要綱第3条第6号に該当）
- No. 4 高松建設株式会社 東京本店
共同住宅「K Building」の設計・建築
建築・まちなみ部門（景観賞表彰要綱第3条第6号に該当）
- No. 5 高松建設株式会社 東京本店
共同住宅「SAKURA TERRACE」の設計・建築
建築・まちなみ部門（景観賞表彰要綱第3条第6号に該当）
- No. 6 社会福祉法人市川会
人と緑が触れあえる環境造り「市川再発見」による景観形成活動
緑化部門・清掃部門（景観賞表彰要綱第3条第3号及び4号に該当）

「市川市景観賞表彰要綱」

第3条 表彰は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、本市における良好な景観の形成に顕著な功績のあったものに対して行う。

- 1号 都市計画法（昭和43年法律第100号）第4条第9項に規定する地区計画等、景観法（平成16年法律第110号）第81条第1項に規定する景観協定等の策定等に主体的に参画したこと。
- 2号 主体的に、良好な景観の形成に関する研修、催物その他の啓発活動を行い、又は参画し、良好な景観の形成に関する市民の意識の高揚に寄与したこと。
- 3号 5年以上にわたり、良好な景観を構成する建造物又は樹木を適切に保全又は管理を行っていること。
- 4号 5年以上にわたり、自主的かつ積極的に地域の清掃又は草花の植栽その他街並み又は自然の景観を保全する活動を行っていること。
- 5号 地域の特性及び周辺の環境に十分配慮して、街並みの整備又は当該整備に係る計画若しくは設計を行ったこと。
- 6号 地域の特性及び周辺の環境に十分配慮して、建造物の建築等又は当該建築等に係る計画若しくは設計を行ったこと。
- 7号 前各号に掲げるもののほか、これらに準ずると認められる活動を行ったこと。

案内図



候補者名	ポラスガーデンヒルズ株式会社	自薦
対象活動	「シャイニングアリーナ市川市大野町四丁目景観協定」の締結	
要綱箇所	建築・まちなみ部門（景観賞表彰要綱第3条第1号に該当）	
具体的な内容	<p>◇概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観協定を締結し、景観に配慮した街づくりを積極的に取り組んだ。 ・「緑と明るさを感じる街づくり」をテーマとして、道路側に広がりを感じる空間や自然や四季の彩りを感じられる緑を施し、街の開放感と明るさを演出している。 ・入居者を対象に「街開きイベント・植樹祭」を行い、住民同士のコミュニケーションを創出した。植栽や花壇の手入れ方法などのアドバイスを実施することで、緑化への関心を高め、良好な景観の街づくり活動を行っている。 ・[建築内容]専用住宅、[戸数]17戸、[住所]大野町四丁目2859番1外[用途地域]第一種低層住居専用地域、[景観特性]緑地・農地と住宅地ゾーン、[協定認可日]平成29年5月29日 <p>◇協定内容（一部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路と敷地の間に原則として塀は設置しない。 ・地境界線は透過性のある壁やフェンス等を使用し、開放感を感じられる空間を作る。 ・景観に配慮した植栽。 ・夜間照明（常夜灯）の設置。 	
	現地写真	
		
	街開きの様子（平成30年2月4日）	
		

候補者名	真間行灯ライトアップ企画実行委員会	自薦
対象活動	真間山弘法寺境内における「真間あんどん祭り」開催による景観形成活動	
要綱箇所	啓発イベント部門（景観賞表彰要綱第3条第2号に該当）	
具体的な内容	<p>◇概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月下旬に開催される「ほおずき市」に合わせて、真間山弘法寺境内にて「真間あんどん祭り」を開催している。（平成27年から毎年実施。今年は4度目の開催。） ・地域の交流を深め、真間地区に新たな名所・景観をつくることを目指す。 ・会場を彩る行灯は、地域の子供たちや保護者などの市民等と千葉商科大学人間社会学部の学生が手づくりしている。 ・ライブ演奏やダンス披露、商店街の方々による出店、浴衣の着付けなど各種の催し物で大変賑わいが創出されている。 ・実行委員会は地域住民、地元商店会、千葉商科大学等にて組織されている。 <p>◇主な活動</p> <p>「行灯づくりワークショップ」 近隣小学校の児童や保護者、地域住民、大学生などが集まり、行灯づくりを実施。</p> <p>「真間あんどん祭り」 真間弘法寺境内にて、作成した行灯によるライトアップを実施。</p>	
	真間あんどん祭りの様子	
	行灯製作の様子	

候補者名	佐久間 きく子	他薦
対象活動	素敵な家屋と庭による景観形成	
要綱箇所	建築・まちなみ部門（景観賞表彰要綱第3条第6号に該当）	
具体的な内容	<p>◇概要</p> <p>[家屋と庭]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人宅の庭および洋風建築物 ・クラシックな民家と幻想的な洋館に染まるバラや色よせた花々。 ・歴史の道を辿るような優雅に咲き、街歩きの時にふっと立ち寄りたくなり、艶やかな桃色に彩られる庭は、入口から最深部まで楽しめる。 ・塀があるため、敷地外から庭を見渡すことはできない。 <p>[古井戸]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭には、80年来の歴史ある古井戸がある。 ・昭和6年に中山法華経寺より頂いた木材で釘を1本も使わずに建てられている。 ・アラベスク柄*をヒントにしたタイルを張ることで重厚感を演出している。 ・炭黒色の柱に映える色取りが神秘的な情景と歴史が調和している。 ・門は常時開いており、敷地外からでも井戸を見ることができる。 <p>(※アラベスク…モスクの壁面装飾に見られるイスラム美術様式のひとつ。植物のツルなどをモチーフにした幾何学的文様が上下左右に反復して描かれる。)</p>	
	敷地外からの状況	
		
	井戸の写真	
		

候補者名	高松建設株式会社 東京本店	自薦
対象活動	共同住宅「K Building」の設計・建築	
要綱箇所	建築・まちなみ部門（景観賞表彰要綱第3条第6号に該当）	
具体的な 内容	<p>◇概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗・事務所・共同住宅からなる建築物。 ・外観デザインは、周辺建物の外観と大きく異ならないよう RC 打放し+タイル貼とし、周辺建物との調和に配慮している。 ・建物のファサードとなるバルコニーを、複数の形状を組み合わせたデザインとすることで、都市部に適したアイコンック(象徴的)な建物になるよう計画している。 ・道路からの後退距離を大きく取るとともに、バルコニーの手摺をガラス素材とすることで、開放感のあるファサードになるよう努めている。 ・緑地帯が少ない地域なので、道路に面してできる限り緑化に努めている。 ・[建築内容]共同住宅、[階数]地上4階建て、[住所]八幡1-4-19 [用途地域]近隣商業地域、[景観特性]幹線道路沿道ゾーン <div data-bbox="375 862 1353 1727" style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>現地写真</p>  </div>	

候補者名	高松建設株式会社 東京本店	自薦
対象活動	共同住宅「SAKURA TERRACE」の設計・建築	
要綱箇所	建築・まちなみ部門（景観賞表彰要綱第3条第6号に該当）	
具体的な内容	<p>◇概要</p> <p>住宅街における既存アパート3棟の建替え。既存の『緑豊かで良好な住環境』を引き継ぐことを重視している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑との調和 敷地境界際にある既存樹木は可能な限り残せる住棟配置計画とし、外観はアースカラーを基調とすることで、植樹帯との調和を図っている。 ・落ち着きあるエントランス及びアプローチ エントランスアプローチには既存樹木の移植及び新規植樹により、ゆとりと落ち着きのある前庭を計画した。 ・住戸より望める和風庭園 既存樹木群をそのまま生かし、足元に築山を設けるなどの整備を行い、庭園を再構成している。 ・[建築内容]共同住宅、[階数]地上5階建て、[住所]市川南 4-1-31 [用途地域]第一種住居地域、[景観特性]市街地ゾーン 	
	現地写真	
		

候補者名	社会福祉法人市川会	自薦
対象活動	人と緑が触れあえる環境作り「市川再発見」による景観形成活動	
要綱箇所	緑化部門・清掃部門（景観賞表彰要綱第3条第3号及び4号に該当）	
具体的な内容	<p>◇概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設職員、ホーム居住者、デイサービス利用者を対象に、緑道造りを通じた憩いの空間創出に取り組んでいる。 ・過密状態だった緑道を、四季を彩る草花植栽に整備・維持している。 ・緑道両側にガザニアを植栽。日差しを好む芝桜から順次、メキシコヒマワリ・スカシユリ・ツツジ・アジサイ等を咲かせたところ、幾種類もの蝶が花の蜜を吸いに集まるようになった。 ・平成29年8月20日。蝶の中で温暖地方に生息する長崎アゲハが飛来（台風などの影響で北上し、平成18年、市川市郭沫若記念公園で生息を確認）、オレンジ色の花の蜜を吸っては交尾、産卵場所を探し求めて飛び去る光景を目の当たりにした。 ・正に「市川再発見」だった。菊は年の最後に咲き、魔除けや健康長寿を願う花としても知られていることから8種類を植栽している。 ・当該緑道は公道に面しておらず、敷地外からは見えにくい。 	
	現地写真	